



広げよう コミュニティの輪

彩の国コミュニティ協議会

第24号 2009.3

みんなで

参加 してみよう!



地域の イベント情報

- 4月** 春日部藤まつり【春日部市】
 日 4月26日(日)
 場 春日部駅西口 ふじ通り
 内 パレード・よさこい・ソーラン・流し踊り・太鼓・模擬店等を開催。詳細はP3
 名 春日部市コミュニティ推進協議会
- 6月** 彩の国コミュニティ協議会
 30周年記念イベント
 日 6月11日(木)
 場 埼玉県県民健康センター
 内 協働についての基調講演や、事例発表。詳細はP4
 名 彩の国コミュニティ協議会

マークの説明 日…開催日 場…開催場所 内…内容
名…市町村協議会名等

※イベント情報について詳しく知りたい方は4ページをご覧ください。

主な内容

- P2 地域の絆**
 ～NPOと県の協働を進める「NPO協働提案事業」～
- P3 NPOについてご存知ですか?③**
 ～NPO法人のメリットと義務～
市町村コミ協の魅力発見!
 ・草加市コミュニティ協議会
 ・春日部市コミュニティ推進協議会
- P4 先進的活動団体紹介**
 住民自治組織活動功績団体表彰優秀賞受賞団体
**彩の国コミュニティ協議会は
 30周年を迎えます。**

お知らせ

情報掲載を希望される会員の方は事務局へお問い合わせください。

彩の国コミュニティ協議会 会員 & 賛助会員 募集!!

コミュニティ活動をさらに活発にするために、協議会の趣旨に賛同し協力していただける新規会員、賛助会員を募集しています。入会、お問い合わせについては当協議会事務局までご連絡ください。

賛助会員だけの入会特典

おバトンがかわいい
コバトンがかわいい!



入会記念として

コバトンストラップ又は
コバトン缶バッジ(2個)を
プレゼント!

会員

- 企業会員・団体会員
- 会費：企業 1口 5,000円を2口以上
団体 1口 5,000円を1口以上

賛助会員

- 個人
- 会費：1口 2,000円



コミュニティ活動は地域住民や地域団体、企業等様々な団体のつながりで支えられています。そんな地域のつながり＝「絆」を1年間の連載を通じ皆様にお伝えしてきました。最終回は、県とNPOの協働です。

NPOと県の協働を進める 「NPO協働提案事業」

埼玉ストリートミュージシャン支援プログラム

NPO：特定非営利活動法人NPO埼玉ネット
担当課：県民生活部文化振興課

県では、登録ミュージシャンの音楽活動を支援する「埼玉ストリートミュージシャン(SSM)制度」を設けています。

今回の事業では、県のSSM支援を後押ししようと、日ごろ、イベントの企画運営やラジオ番組の制作に携わっているNPOが、イベント会場やラジオ番組を楽曲発表の場としてSSMに提供しました。県担当課を通じて出演希望者を募り、6ヶ月の事業期間中に、延べ40会場でのライブと週1回のラジオ放送を行いました。

ライブの運営やラジオ番組の制作を通じて、SSM同士の新たな交流も生まれたようです。ライブやラジオの様子はインターネットオンデマンド配信を行っていますので、ぜひ視聴してみてください。

(特)NPO埼玉ネット

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保519番地1 埼玉県浦和・大久保合同庁舎1号館
電話：048-714-0501 HP：http://nponet.nngo.jp



【僕たちの歌を聴いて!】

生活サポート互助システムづくり事業

NPO：市民の福祉と医療の情報センター
担当課：福祉部介護保険課

「住み慣れた我が家や地域で、安心して、自分らしく暮らしたい」そのためにも、住民同士の助け合い(共助)が必要です。そこで、住民同士の有償ボランティアによる生活サポートシステムを武蔵浦和でモデル的に立ち上げました。

地域住民や介護事業者に対して、NPOが地道に理解を求め、2月末までに37名になりました。散歩の同行や介護家族の生活相談など、介護保険で対応できない部分のサポートを行っています。また、住民同士の助け合いの仕組みを全県的に広げるために、「共助のための人づくり講座」を開催しました。今後の県内各地の動きに期待です。

なお、県担当課は、ホームページや記者発表による広報、講座会場や講師の調整などの役割を担いました。



【共助のための人づくり講座】

市民の福祉と医療の情報センター

〒330-0075 さいたま市浦和区針ヶ谷4-7-33-1-206
電話：048-837-3561 HP：http://www.konomachi.org/musashi/

1日漁師～ブラックバス食べちゃいます～

NPO：特定非営利活動法人名栗カヌー工房
担当課：農林部生産振興課

県内の漁獲量は約20年前の1/7以下に激減しており、その原因の一つが、ブラックバスなどの外来魚による在来魚の捕食です。

今回、名栗湖畔で間伐材を活用した手作りカヌー教室などを行っているNPOが、カヌーに乗って名栗湖のバスを駆除し、捕獲したバスは料理して食べてしまおうというイベントを実施しました。県担当課が入間川流域4市、水産研究所との調整に協力し、全5回のイベントに、親子連れを中心とした合計118名の参加者を集め、286匹ものバスを駆除することができました。また、啓発用の看板を設置したり、事業成果を県やNPOの関連イベントで紹介したりもしました。

これからも、関係機関と協力しながら、駆除活動や啓発活動を進めていく予定です。

(特)名栗カヌー工房

〒357-0112
飯能市大字下名栗1817番地9
電話：042-979-1117
HP：http://www.naguri-canoes.com/



【ブラックバス食べちゃうぞ!】

彩の国商業IT革新塾

NPO：特定非営利活動法人東上まちづくりフォーラム
担当課：産業労働部商業支援課

情報技術の発展と普及がめざましい今日、商業者の間でもネットショップを開店したいとの声が増えています。

そこで、NPOと県担当課が協働で実施したのが、ネットショップの立ち上げまでをサポートする実践的講習会です。さいたま市と熊谷市の2会場で全8回の講習を実施し、県内で洋品店や菓子店などを営んでいる若手商業者が30名ほど参加しました。

IT技術とともに、商い繁盛への秘訣などの指導も行った結果、目標だったテストショップの開店だけでなく、さっそく売上げに結びついた受講生もいました。

修了生には、NPOと埼玉県知事の連名で、修了証書が送られました。今後も、フォローアップのための交流会を行う予定です。



【ネットショップの作り方を学ぶ】

(特)東上まちづくりフォーラム

〒353-0006 志木市館2丁目5番2号 電話：048-476-4600
HP：http://www.tojocity.org/

NPOについてご存知ですか? 3

地域のコミュニティ活動を支えている団体としてNPO法人の基礎知識を深めてもらうための連載最終回です。

NPO法人の メリットと義務



第21号、第22号で、組織内ボランティアグループのNPO法人化の話をしました。

法人化した方がよいのか、そのままの方がよいのか。意見が分かるところです。最終回となる今回は、NPO法人にはどんなメリットがあって、どんな義務があるかを整理してみましょう。

メリット

- 契約の締結や自動車の所有などを団体名で行うことができます。
- 情報公開されるため、社会との接点ができます。
- 業務委託などが受けやすくなります。
- 従業員を雇用しやすくなります。

義務

- 毎年、総会を開催し、法人の活動計画、予算・決算を明らかにするとともに、所轄庁を通じて情報公開する必要があります。
- 登記、税務、社会保険など関係官公庁への届出等が必要です。
- 原則として住民税が課税されます。
- 解散する場合、財産を公益法人などに寄附することになります。

以上を踏まえて、NPO法人向きの団体、任意団体向きの団体をパターン化してみましょう。

問合せ: 埼玉県NPO活動推進課(048-830-2818)まで

NPO法人の方が向いている団体

- 県や市町村から業務委託などを受けており、契約事務を代表者名義で行っている。
- 何百万円という額を集めており、会計担当者名義の預金口座で管理している。
- 総会の開催や予算・決算、事業報告書の作成は、毎年度必ず行っている。
- 自分たちの活動を広く知ってもらい、仲間を増やしたいと思っている。

任意団体の方が向いている団体(又は法人になれない)

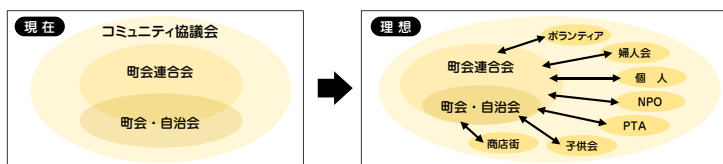
- 今の仲間だけで活動したい。新たな仲間を増やす意思がない。
 - バザーなどで得られた利益は、皆で分配したい。
 - 総会の開催、予算・決算、事業報告書を作る必要性を感じていない。
 - 任意団体で一切不便を感じていない。
- 色々書きましたが、これは例示に過ぎません。一番大切なのは法人化に対する皆様の思いです。「NPO法人になるべきか、ならざるべきか。」皆で集まって、一度検討してみませんか。

市町村コミ協の魅力発見!

県内には69の市町村コミュニティ協議会(=コミ協)があります。地域性、特性を活かして活動しているコミ協をPR! あなたのお住まいの、働いている、市町村のコミ協はどんなところでしょう??

草加市コミュニティ協議会

草加市コミュニティ協議会は、地域住民が相互の連携を深め、創造性豊かな地域活動を営むため、潤いと安らぎのあるコミュニティの健全育成を推進することを目的とし行動しております。現在の組織は、事務局員2名と施設管理職員20名にて、コミュニティセンター5館とミニコミュニティセンター4館を草加市から指定管理者として指定されています。これらの施設は、市内各地域のコミュニティ活動推進拠点の場として、多いに活用されています。草加市コミュニティ協議会の組織母体は、町会自治会115団体を市内10ブロックに区割りした町会連合会と各町会自治会であり、地域コミュニティの拠点となるコミュニティセンターの運営団体にPTA・婦人会・子供会等の各種団体が参加することで、町会自治会と各種団体との繋がりに日々努力しているところです。



町会自治会と各種団体との繋がりで、平成20年12月に実施した、青柳葛西用水魅力UPプロジェクトを紹介します。

草加市青柳地区の憩いの名所である葛西用水の更なる魅力アップを目指し、近隣町会、PTA、少年野球団、児童クラブ、葛西用水をよりよい環境にするための活動団体及び草加市にて、施設整備し20数年経過した用水路に架かっている木製の橋「ふれあい橋」等のペンキ塗りを実施しました。



【沢山の人が参加】

当日は天候に恵まれ、普段行うことも少ないペンキ塗りを、草加市職員の指導のもと、楽しみながら行いました。このように、住民が普段何気なく利用する施設のメンテナンスを自分たちの手で行える場を提供することで、地域に対する愛着を育むと同時に、地域の輪の広がりができ、自分のまちは自分たちの手で住みよくしていこうとする、良い事例となりました。

草加市コミュニティ協議会: TEL048-922-6327

春日部市コミュニティ推進協議会

春日部市コミュニティ推進協議会では、49の団体が地域コミュニティの活性化のために、様々な事業を展開しています。そのうち、主な事業では、「春日部藤まつり」「コミュニティ夏祭り」「親子ファミリー劇場」「古利根川清掃」などがあります。

毎年、4月の最終日曜日には、春日部駅西口の「ふじ通り」を会場に、「春日部藤まつり」を開催しています。パレードを始め、和太鼓、流し踊り、よさこいソーラン、吹奏楽やマジック、最近人気のキッズダンスなど、様々なイベントと、数多くの思考を凝らした模擬店で、市の内外から訪れる十数万人の来場者を集めて盛大に開催されています。



【毎年盛大に開催されています。】

8月には、緑豊かな庄和総合公園を会場に、「コミュニティ夏祭り」を開催しています。芝生の広がる広場の中心に舞台を設け、和太鼓、八木節、マジック、よさこいソーランなどが次々に披露され、舞台の周囲には家族連れが敷物を広げ、夜のイベントを満喫しています。

11月には、幼児・児童と保護者を対象にした「親子ファミリー劇場」が開かれます。劇団などを招き、演劇や音楽などのイベントを繰り広げてもらい、一体となった会場の雰囲気は楽しく賑やかなものになります。

3月には、市の中心を南北に流れる古利根川を一斉清掃する「古利根川清掃」が、流域近隣自治会や各種団体等の参加により開催されます。申し込み段階では、参加者数は70数団体約4000人にも上ります。

今後も、これらの事業を中心として、心のふれ合う明るく住みよいまちづくりを目指していきたいと考えています。

事務局: 春日部市役所市民参加推進課内 TEL048-736-1111

先進的活動 団体紹介

平成20年度 住民自治組織活動功績 団体表彰優秀賞受賞団体

住民自治組織活動功績団体表彰とは、住みよい地域づくりの活動に特に顕著な功績をあげ、他の住民自治組織の活動モデルとなるような自治会等、地縁による住民組織に対して贈呈されるものです。今年度優秀賞を受賞された5団体を御紹介いたします。

組織率100%!!「信頼と思いやり」のある街づくり かわつる三芳野団地自治会（川越市）

この自治会の特徴はなんと言っても組織率100%という、団地に住む住民の参加率です。

団地の住民だけでなく、留守宅を賃借している非管理組合員も会員になれる規約にするなどの工夫をしています。

子ども会や老人会活動、防犯や自主防災活動、環境美化など多くの活動を実施することで、それぞれの希望に沿った形で全員参加することができるようにするほか、アンケートや懇談会などを実施し、常に住民の意識を把握する努力を行っています。

ふるさとを愛し地域の交流と安全を推進 長浜町自治会（本庄市）

福祉委員会による長寿の集いに敬老会、各実行委員会による夏祭り、花火大会、秋祭りの実施により世代間交流を進めています。

また、先祖らが生まれ育った長浜の記憶を子どもたちに伝える「長浜町のあゆみ」を編纂し、ふるさとを愛する心を醸成しています。

他にも、「地域に住む児童をその地域に住む大人が安心して見守る」をスローガンに開始した児童防犯パトロール、交通安全指導をはじめ、子どもたちの健全育成に取り組むなど、多くの活動を通じて、地域住民の交流を深めています。

「自分たちのまちは、自分たちで守る」 岸町地域自主防犯ステーション 運営協議会（川越市）

地域住民主体の運営協議会(小・中学校PTA等管内14団体)を組織し、警察再編計画により廃止された空き交番を地域防犯拠点(烏頭坂ステーション)として活動しています。毎日常駐し、道案内、地域内パトロール、下校児童の見守り活動などを実施しており、住民の防犯意識の高揚、住民同士のコミュニケーションの充実につながっています。



【みんなで防犯パトロール】

お互いに汗をかきながら作業を通じて絆を深める 上郷事務区（上尾市）

当区では、区民が一体となってリサイクル活動を行っています。

当初はなかなか区民の協力が得られず苦勞しましたが、スタッフの構成を工夫したり、活動後の反省会を随時行い出来ることはすぐに実行するなど努力し、区民の理解を深めていきました。

リサイクル作業は、汗をかきながらの手作業が中心となるために、互いに力を合わせる分だけ絆も強くなります。この活動により、各種行事への参加も積極的になり、福祉・環境・防災・防犯等のまちづくりにもつながっています。

また、リサイクル事業の売上金は、年間400万円以上に上り、収益の中から市社会福祉協議会や災害地等への寄付も行っています。

地域の輪を広げる多様なサークル活動! 生出塚団地自治会（鴻巣市）



【花のコミュニティサークルの活動】

「心ふれあう街創り」をテーマに、よりよい住環境を目指して、2,500人が集う夏祭りや、集会所を拠点とした様々な分野の26サークル活動など活発な交流親睦活動を行っています。

このサークル活動を通して隣近所の付き合いに限らず、地域への関心が高まり、清掃活動、防犯活動など地域を守る活動につながり、地域住民のふれあいの輪が広がっています。

彩の国コミュニティ協議会は30周年を迎えます!

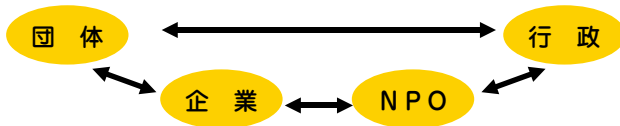
彩の国コミュニティ協議会は昭和54年の設立から平成21年度で30周年を迎えます。そこで埼玉県と共催で、30周年を記念したイベントを開催します。

30周年記念イベント 協働による地域づくり ～みなさんの出会いと活動をお手伝いします!～

当協議会では、地域団体、各種団体、企業など、様々な主体が相互に連携を図りながら地域を支えていく必要があると考えています。そこで、地域で活動している皆さんのつなぎ役になれたらと考えています。

そこで、30周年記念イベントでは、様々な主体が協働して取り組み地域づくりの講演や事例発表を行います。

みなさんも協働について一歩踏み出してみませんか? 御来場お待ちしております!



6月11日(木)
14:30~16:30(予定)
県民健康センター 大ホール
●基調講演
●事例発表
●県の取り組み紹介

コミュニティマップのご案内 県内のイベント情報が盛りだくさん!

彩の国コミュニティ協議会発行のコミュニティマップをご覧になりたい方は、120円切手を同封の上、彩の国コミュニティ協議会事務局(表紙下記参照まで)へお送りください。

